

SCAT12 で計算する前に — 準備と、つまずきどころ

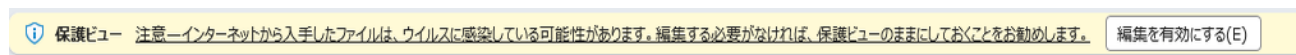
SCAT12 は、無料で CO2 排出量（Scope1・Scope2）を計算できるエクセルのツールです。計算の方法そのものは一般社団法人サステナビリティ技術設計機構（Susdi）が定めたものなので、出てくる数字に恣意は入りません。

ただ、入力でつまずく箇所は決まっています。先に見ておくと、ずいぶん早く終わります。

1. 最初の関門は、計算ではありません

ダウンロードしたファイルを初めて開くと、画面の上に帯（メッセージバー）が出ます。いちばん多いつまずきが、実はここです。計算に入る前に、順に片づけておきましょう。

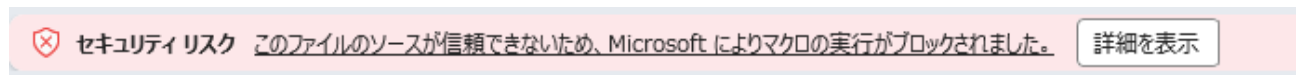
① 「編集を有効にする」



黄色い帯です。右端のボタンを押せば、そのまま先に進めます。

② マクロの帯 — 本当の関門はこちら

①のあと、赤い帯が出る場合があります。



ここで対処が2つに分かれます。帯に書かれている文言を見てください。

「コンテンツの有効化」というボタンがある場合

押すだけで終わりです。これで計算が動くようになります。

「マクロの実行がブロックされました」と出て、ボタンが「詳細を表示」しかない場合

画面上では解除できません。いったんファイルを閉じて、次の操作をします。

1. エクスプローラーでファイルを右クリック → 「プロパティ」
2. 「全般」タブのいちばん下、「セキュリティ」の欄にある「許可する」にチェック
3. 「OK」を押して、ファイルを開き直す

インターネットから入手したファイルに Windows が付ける印が原因です。SCAT12 に問題があるわけではなく、マクロを使うエクセルなら何でも起きます。

2. 用意するものは2つだけ

- 電気の請求書（対象期間ぶん）

- **燃料の伝票**（使っているものだけ。ガソリン、軽油、重油、ガスなど）

これだけです。使っていない燃料の欄は、空のままで構いません。

3. 対象期間を決める

プルダウンで「年度」か「暦年」かを選び、期間を設定します。

どちらでも構いませんが、**翌年も同じ取り方にしてください**。期間の取り方が変わると、前年と比べられなくなります。請求書がそろえやすいほうを選ぶのが、実務的です。

4. 燃料は「種類」を選んでから「量」を入れる

順番が決まっています。先に燃料の種類を選ぶと、**SCAT のほうから単位を指定してきます**。

ここが要注意です。指定される単位と、手元の伝票の単位は、一致しないことがあります。

たとえばガソリンなら、SCAT は**キロリットル（kL）**を指定してきます。一方、伝票はリットル（L）表記が普通です。そのまま入れると、**1,000 倍ずれます**。

たとえば 5,000 L = 5 kL

指定された単位を必ず確認してから、手元の数字を読み替えてください。数字の桁が想定と違うときは、まずここを疑うと早いです。

5. 数字が出たら

Scope1（燃料など、自社が直接出した分）と Scope2（電気など、買ってきたエネルギー由来の分）が並びます。

売上 100 万円あたりの原単位も出ます。**これは規模の違う会社とも比べられる数字**なので、覚えておく使い道があります。

6. その数字、取引先に出せますか

SCAT12 は、計算方法が保証されています。

ただし、入力した中身までは誰も保証していません。

- ・ 燃料の単位は、指定どおりに読み替えられているか
- ・ 拾い漏れている燃料はないか
- ・ 期間の取り方は、翌年も同じにできるか

自己流のまま取引先に出すと、あとから食い違いが出る場合があります。

最初に整えておくほうが、結局は早く済みます。

7. もうひとつの数字があります

Scope1・2 は、**求められて出す数字**です。取引先に渡せば、それは相手の Scope3 の材料になります。御社に残るものはありません。

Scope3 と削減貢献は、**こちらから示す数字**です。廃棄物を減らした、再生原料として売った —— その貢献を数字にできて初めて、「選ばれる理由」になります。

その計算をするのが SCAT123plus です。

8. お役に立てそうなもの

操作マニュアル（無料）

SCAT123plus の操作マニュアル（PDF）をお配りしています。入力から結果の読み方まで、手元に置いて使える冊子です。

<https://forms.gle/1Jxm9bNH3icLt5YU6>

個別相談（オンライン・30 分・無料）

通常は 90 分 11 万円でお受けしている個別相談ですが、SCAT12 に関するご相談を**オンラインに限り、30 分無料**でお受けしています。

「うちの場合はどこから手をつけるべきか」「この数字は取引先に出して大丈夫か」といったご相談に、その場でお答えします。売り込みはいたしません。お話をうかがったうえで「いまはまだ必要ない」と申し上げることもあります。

ご希望の方は、下記まで「30 分相談希望」とお書き添えのうえご連絡ください。

nishida@officenishida.biz

そのほか

▼SCAT123plus 入門・全体像（6 分・無料） <https://youtu.be/Jr8KD6S59wc>

▼廃棄物ゼロ経営セミナー

<https://officenishida.biz/seminar>

ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

合同会社オフィス西田 西田 純

〒107-0062 東京都港区南青山二丁目 2-15-942 / nishida@officenishida.biz /

<https://officenishida.biz>